10月7日(金)発売予定

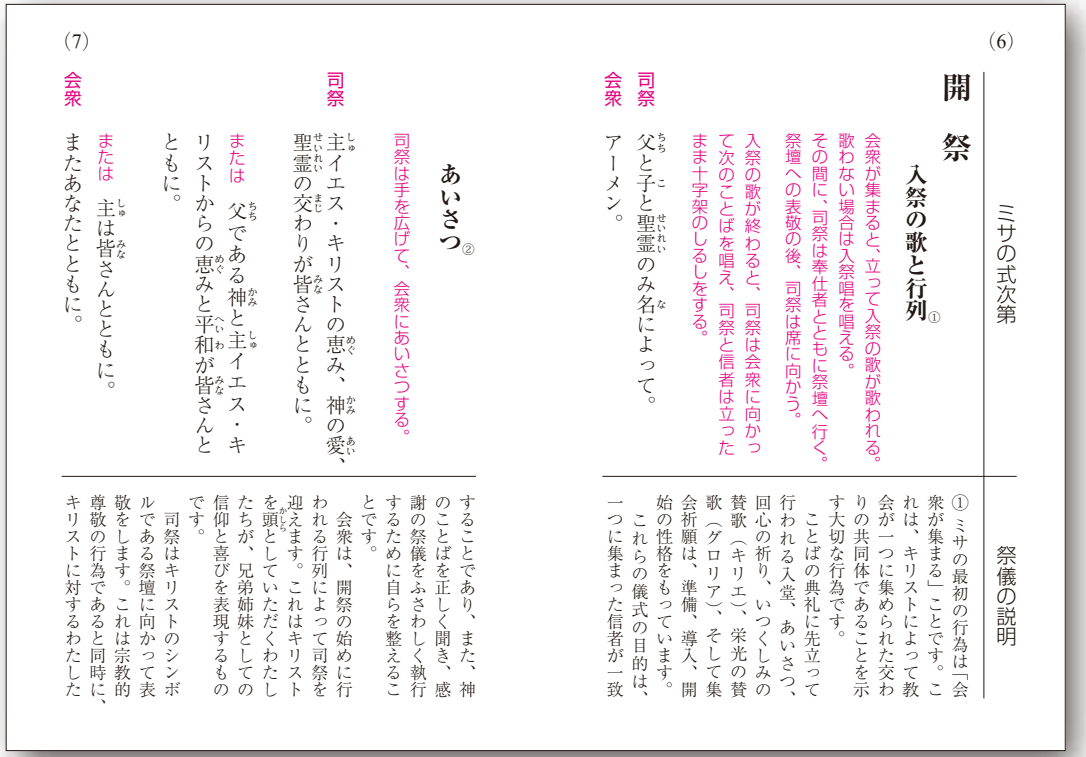
サンパウロ 新刊案内

キリストとわたしたちのミサ
(新式次第版)

祭儀の説明／澤田　豊成（聖パウロ修道会司祭）

2022年11月27日（待降節第1主日）から使用される新しいミサの「新式次第」です。詳細な「祭儀の説明」が付いているので、ミサへの理解をより一層深めてくれます。第一奉献文から第四奉献文まですべて掲載しているほか、ミサの式文で、声に出して唱える部分には、すべてルビを振りました。本のサイズ、表紙のデザイン、装丁などは、これまで使用されてきた『キリストと我等のミサ』を踏襲していて丈夫、持ち運びにも便利です。

〈表紙見本〉



(6)

ミサの式次第

開祭

入祭の歌と行列①

会衆が集まると、立って入祭の歌が歌われる。歌わない場合は入祭唱を唱える。その間に、司祭は奉仕者とともに祭壇へ行く。祭壇への表敬の後、司祭は席に向かう。入祭の歌が終わると、司祭は会衆に向かって次のことばを唱え、司祭と信者は立ったまま十字架のしるしをする。

司祭　父と子と聖霊のみ名によって。
会衆　アーメン。

祭儀の説明

①ミサの最初の行為は「会衆が集まる」ことです。これは、キリストによって教会が一つに集められた交わりの共同体であることを示す大切な行為です。

ことばの典礼に先立って行われる入堂、あいさつ、回心の祈り、いつくしみの賛歌（キリエ）、栄光の賛歌（グロリア）、そして集会祈願は、準備、導入、開始の性格をもっています。

これらの儀式の目的は、一つに集まった信者が一致することであり、また、神のことばを正しく聞き、感謝の祭儀をふさわしく執行するために自らを整えることです。

会衆は、開祭の始めに行われる行列によって司祭を迎えます。これはキリストを頭としていただくわたしたちが、兄弟姉妹としての信仰と喜びを表現するものです。

司祭はキリストのシンボルである祭壇に向かって表敬をします。これは宗教的尊敬の行為であると同時に、キリストに対するわたした

(7)

あいさつ②

司祭は手を広げて、会衆にあいさつする。

司祭　主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが皆さんとともに。
または　父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和が皆さんとともに。
会衆　または　主は皆さんとともに。
またあなたとともに。

〈本文見本〉

• A6判 • 116頁 • 並製 • 定価 495円（本体450円＋税） • ISBN978-4-8056-2104-2 C3116